



SG460 超遅乾シリーズ

SG460 超遅乾シリーズは、UV 接着剤等の影響を受けないように設計された、強化ガラス及び各種ハードコート材用のインキとして開発されたスクリーンインキです。一般用のガラス用インキよりも耐候性、耐薬品性、耐湿性の点で非常に優れています。

タイプ

ウレタン系

3液イソシアネート硬化型

用途

ガラス(強化ガラス)及び各種ハードコート材

特徴

耐候性、耐酸性、耐アルカリ性、耐溶剤性、耐水性、耐摩耗性に優れています。

希釈溶剤

標準溶剤 T-980

硬化剤混合

混合比 インキ：硬化剤=65：35～80：20

* 混合したインキは常温で2～3時間経過すると、ゲル化や物性の低下を起こします。

* ガラスへ印刷する場合、FA 硬化剤をご使用の上、上記配合に Care178、Care73、或いは Care83 を3～5%添加して頂きますと密着性・耐湿性が向上します。素材によっての相性がございますのでご試験の上、ご選定ください。

* 硬化剤の混合量が少なくなりますと、耐接着剤性等の物性が低下しますが隠蔽性・作業性等の性能が良くなります。推奨配合内で最適配合を決定してください。

洗浄溶剤

T-31

印刷

スクリーンメッシュ テترونまたはナイロンの250～420メッシュをお勧めします。



乾燥

常温 60℃ x 60分 : 各種ハードコート材
 焼付 150~180℃ x 30~60分 : ガラス(強化ガラス)

その他

- ・SG460 超遅乾シリーズは湿気に対して敏感に反応します。開缶後はできるだけ早くご使用ください。
- ・プラスチック材への印刷時は D 硬化剤をご使用ください。
- ・D 硬化剤と Care73、Care83 を同時にご使用になると非常に早くゲル化が進みますのでご注意ください。

試験条件及び結果

項目	方法	評価	結果
密着	1mm間隔クロスカットセロテープ剥離	剥離なきこと	合格
鉛筆硬度	鉛筆硬度試験機による。 45° ×750g	著しい傷つき跡がなきこと	2H 合格
耐冷熱 サイクル	-20℃×30分→80℃×30分を1サイクルとし、10サイクル実施。サイクル後、1mm間隔クロスカットセロテープ剥離	外観変化なきこと 剥離なきこと	合格
耐アルコール	ガーゼを巻いた500分銅のガーゼ部に1級メタノールを浸み込ませ往復50回拭き取り	ガーゼへの色移りなきこと 往復による剥離なきこと	合格
耐磨耗性	ガーゼを巻いた500分銅のガーゼ部で往復50回拭き取り	往復による剥離なきこと	合格
耐煮沸性	沸騰水中に3時間浸漬後室温で2時間以上放置し1mm間隔クロスカットセロテープ剥離	外観変化なきこと 剥離なきこと	合格

印刷条件

主剤 SG460 超遅乾 DT2 コンク 710 ブラック
 硬化剤 D 硬化剤
 混合比 65 : 35
 溶剤 T-980 10%
 素材 MR200
 版 テトロン 270 メッシュ
 乾燥 60℃×1時間+常温放置7日 (サイクル試験は常温放置2日で試験実施)